

科目名	哲学と思考
科目名(英訳)	Philosophy and Thoughts
科目ナンバー	AA129A01
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	三浦 太一
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:EM EE ED EC EA EK EP ER EL EU BS NA HJ HF HI HW HH HM FR FS FT LB LK LP LS LC LE PY PJ AS AR AU
他学科受講	
履修順序・履修情報	人数制限あり
担当者及び時間割	【春学期】 三浦 太一:火3-4
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	全学共通教育科目の教養課題教育科目「人文リテラシー」に属する科目である。学部・専門分野にかかわらず、専門職業人／有識社会人として、社会の諸問題を判断し解決するための、人文学に関する基礎知識・素養を身につける。この科目では人文科学・社会科学・自然科学の基礎とされる哲学の幅広い知識と、さまざまな思考体系について学び、自身で考えられる力を養うことをめざす。なお、履修にあたっては所属する学部学科の教育目的との関連についても確認することが望ましい。
身につく基礎力 / 身につく汎用力	クリティカル思考力 自己理解力

授業の主旨 (概要)	私たちは「人間とは何か?」という問いに対する確実な答を持っているでしょうか。人類の知の発展の中で、人間そのものが常に多くの分野で考察の対象となっています。特に現在、人間と同等、あるいは、それをも超える知的能力の可能性を持った人工知能やロボットの誕生を、私たちは目の当たりにしています。人間と人工知能の本質的な違いはどこにあるのでしょうか? こういった問題を踏まえて、人間、そして、自己自身を考察するための知見を、西洋思想の根幹たる古代ギリシア哲学者プラトンとアリストテレスの著作から学んでいきます。心と身体、知性や狂気といった人間に関わる様々な事柄に対する彼らの思索をたたき台にして、私たち自身の自己理解を磨きます。	
具体的 達成目標	1.古代ギリシア哲学で考察された、人間に関する知見を獲得する。2. 歴史的に展開された「人間論」に関する知識を通じて、我々自身の自己理解を明確な言葉で説明できるようにする。	
	1	【内容】 第1回 はじめに 講義の概要と計画の説明 【授業外学習】 事前:シラバスに目を通し、授業で扱うトピックを確認する。事後:課題質問への回答・提出を行う。
	2	【内容】 第2回 人間の本体は何か(1)プラトン著作における「魂」の意味を学修する。 【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。
	3	【内容】 第3回 人間の本体は何か(2)アリストテレス著作における「魂」の意味を学修する 【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。
	4	【内容】 第4週 よい心とはなにか(1)プラトンにおける知性と魂のかかわりを学ぶ。 【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。
	5	【内容】 第5週 よい心とはなにか(2)アリストテレスの賢慮(フロネーシス)について学ぶ。 【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。
	6	【内容】 第6週 習慣づけは心にどのように機能するのか(1)プラトンの教育論と魂三部分説を学ぶ 【授業外学習】 事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。

④ 授業計画	7	【内容】	第7週 習慣づけは心にどのように機能するのか(2)人徳形成のための模倣について学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	8	【内容】	第8週 人間はどのように欲望と自制を持ちうるのか(1)プラトン著作から魂における抑制について学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	9	【内容】	第9週 人間はどのように欲望と自制を持ちうるのか(2)アリストテレスの「無抑制」(アクラシア)論を学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	10	【内容】	第10週 快楽は人間にとってどのような意味をもつか(1)プラトンの快楽主義批判を学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	11	【内容】	第11週 快楽は人間にとってどのような意味をもつか(2)アリストテレスの幸福論における快楽の働きを学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	12	【内容】	第12週 人間において狂気の働きとは何か: プラトンにおける狂気と芸術の関わりを学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	13	【内容】	第13回 論述の方法と実践およびこれまでの復習			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードされた資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	14	【内容】	第14回 復習:これまでの学修内容の復習			
		【授業外学習】	事前:これまでの学修内容をみなおしておく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
15	【内容】	第15回 総括と論述テスト				
	【授業外学習】	事前:論述テストの記述内容を準備しておく。事後:自分の記述した内容を思い返し、簡単なメモを取っておく。				
④ 授業方法	スライドを用いて講義を行う。時間の最後にコースパワー等を用いて課題質問への回答を記入をしてもらう。提出物には講義やコースパワー等を通じてコメントを提示する。					
④ 成績の評価方法	最終週に行う論述テストを70パーセント、毎週の課題提出を30パーセントの割合で評価する。テストの際には、ノートや資料の持ち込みは不可。またPCやスマートフォン、電子辞書などの情報機器はテスト中は使用不可。以下に示すような受講上の問題が発見された場合、成績評価の対象としないものとする。著しく欠席が多い、課題提出数が非常に少ない、私語などによって授業または他の参加者への妨害がある、授業中に授業とは関係のない課題作成やスマートフォン、PCの使用がなされている、授業中に正当な理由なくイヤホンを使用している、出席登録に関連した不正行為がなされている、論述テストの際にカンニング等の不正行為がある、等。					
④ 成績の評価基準	論述テストでは、授業で扱ったテーマについて自分の言葉で要約し、かつ、自分自身の考察と比較することが求められる。他者の言説に対して、丸写しや剽窃を行ったことが明らかな場合は、評価対象としない。論述中にテキストや二次文献の引用を行う場合は出典に言及すること。60点以上が合格となる。内容の把握が正確で、自分の見解も明確に示しているレポートは70点以上の評価となる。さらに、見解にオリジナリティがある場合は80点以上、内容把握、見解の質、さらに文章表現の全てが優れている場合は90点以上となる。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『哲学の饗宴:ソクラテス・プラトン・アリストテレス』	荻野弘之	日本放送出版協会		978-4140841587
	2.	『心の哲学入門』	金杉武司	勁草書房		978-4326153923
	3.	『パイドン:魂について』	プラトン・納富信留訳	光文社		978-4-334-75402-0
	4.	『アリストテレス全集第七巻:魂について』	アリストテレス・中畑正志訳	岩波書店		978-4-00-092777-2
	5.	『西洋哲学の起源』	荻野弘之 桑原直己	放送大学教育振興会		978-4595316036
④ 備考	参加者の関心に応じて授業の進行具合を変更する場合がある。休講等によって授業日程に遅れが生じた場合には、第十六週目の同時限に論述テストを行う可能性があるため、留意してください。					
④ 関連ホームページ						

 メール アドレス	三浦 太一 shi2564@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	